



TITLE:

参考文献、京都大学構内遺跡調査 要項昭和54年度、京都大学構内遺 跡調査の歴史一覧

AUTHOR(S):

CITATION:

参考文献、京都大学構内遺跡調査要項昭和54年度、京都大学構内遺跡調査の歴史一覧. 京都大学構内遺跡調査研究年報 1980, 1979: 68-80

ISSUE DATE:

1980-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227360>

RIGHT:

参 考 文 献

- 尼崎市教委（尼崎市教育委員会）1976年『尼崎市金楽寺貝塚』（尼崎市文化財調査報告 第11集）
- 石田志朗・中村徹也 1972年『京都大学理学部構内遺跡発掘調査の概要』
- 泉 拓良 1977年「京都大学植物園遺跡」『仏教芸術』115号
- 宇野隆夫 1979年「鴨東の開発——平安京と京近郊」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 梅原末治 1923年「京都帝国大学農学部敷地ノ石器時代遺跡」『京都府史蹟勝地調査会報告』第5冊
- 1935年「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第16冊
- 1936年『摂津阿武山古墓調査報告』（大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告 第7輯）
- 1938年「北白川廃寺趾」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第19冊
- 大野 薫 1979年『淡輪遺跡発掘調査概要Ⅰ』
- 岡田保良 1979年「京都大学構内遺跡と京・白河」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 小野山節・都出比呂志 1973年『高槻市安満遺跡の条里遺構』
- 鎌木義昌・高橋護 1965年「瀬戸内海地方の先土器時代」『日本の考古学Ⅰ 先土器時代』
- 川上 貢 1977年「京都大学構内における史跡の文献的考察」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 京都市文化観光局文化財保護課 1979年『京都市遺跡発掘調査基準点 成果表・点の記』
- 京大調査会（京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会）
- 1977年『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 京大埋文研（京都大学埋蔵文化財研究センター）
- 1978年a『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 1978年b『京都大学埋蔵文化財調査報告第1冊——京大農学部遺跡BG36区——』
- 1979年『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 京都大学工学部建築学教室建築史研究室
- 1977年『京都大学建築八十年のあゆみ 京都大学歴史的建造物調査報告』
- 紅村弘ほか 1971年『岐阜県美濃加茂市神明遺跡発掘報告書』
- 小玉道明ほか 1970年『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』
- 近藤義郎 1964年「古目良遺跡——目良式製塩土器の研究」『田辺文化財』第8号
- 佐藤良二 1979年「二上山北麓における縦長剥片生産技術」『二上山・桜ヶ丘遺跡——第1地点の発掘調査報告——』（奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告 第38冊）
- 島田貞彦 1924年「京都市北白川町発見の石器時代遺跡」『考古学雑誌』第14巻第5号
- 杉山信三 1953年「延喜式の十五寺について」『日本建築学会研究報告』第21号

- 1954年「吉田寺について」『史迹と美術』242号
- 1955年 a 「東光寺について」『日本建築学会研究報告』第30号
- 1955年 b 「洛東の円覚寺について」『日本建築学会研究報告』第34号
- 1957年「後高倉院の御葬地、北白川について」『史迹と美術』278号
- 1962年『院の御所御堂——院家建築の研究——』（奈良国立文化財研究所学報 第11冊）
- 巽三郎・大原満 1972年『江津良遺跡とその周辺——調査概要——』（熊野路考古 第7号）
- 田中重久 1970年「10世紀の平安京内外の諸寺」『日本歴史』第267号
- 1976年「北白川廃寺址は粟田寺と官寺円覚寺の複合遺跡（上）・（下）」『史迹と美術』267号・268号
- 角田文衛 1970年 a 「北白川廃寺の問題」『日本古文化論攷』
- 1970年 b 「藤原高子の生涯」『王朝の映像』
- 中村徹也 1973年『京都大学農学部総合館周辺埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1974年 a 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅰ』
- 1974年 b 『京都大学理学部ノートバイオトロン実験装置室新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1975年『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅱ』
- 奈文研（奈良国立文化財研究所）
- 1976年『平城宮発掘調査報告Ⅶ』（奈良国立文化財研究所学報 第26冊）
- 西田直二郎 1925年「法勝寺遺址」『京都府史蹟勝地調査会報告』第6冊
- 広瀬和雄 1978年『岬町遺跡群発掘調査概要——小島東遺跡・淡輪遺跡』（大阪府文化財調査概要1977）
- 林屋辰三郎・村井康彦・森谷剋久編 1979年『京都市の地名』（日本歴史地名大系 第27巻）
- 福山敏男 1968年「六勝寺の位置」『日本建築史研究』
- 1977年「室町時代の神社——特に吉田社と齋場所」『日本の美術』第129号
- 藤井直正・原田修 1971年『縄手遺跡1』
- 藤岡謙二郎 1973年「北白川扇状地と教養部構内発見の遺物包含層並びにその先史地理学的意義」『人文』第19集
- 1978年「北白川扇状地と京都大学構内遺跡」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 平安博物館編 1977年『平安京古瓦図録』
- MOIOLA, R. J. and WEISER, D.
- 1968年“TEXTUAL PARAMETER: AN EVALUTION” Journal Sedimentary Petrology, 38, (1)
- 森浩一・白石太一郎 1968年「紀淡海峡地帯における古代漁業遺跡調査報告」『紀淡・鳴門海峡地帯における考古学調査報告』（同志社大学考古学調査報告 第2冊）
- 安川豊史 1978年「北沖代遺跡」『日本塩業大系 史料編 考古』
- 柳田俊男 1977年「瀬戸内東部及び近畿地方における旧石器時代研究の現状と問題点——特に研究

過程における方法論をめぐって——』『プレリュード』20

横尾義貫・川上貢・谷直樹

1977年「京都河川変遷史論(序説)」『日本建築学会大会学術講演梗概集(中国)』

横山浩一・佐原真 1960年『京都大学文学部博物館考古学資料目録 第1部』

横山卓夫 1974年「京都盆地, その形成過程」『同志社工学会報』第15号

渡辺誠ほか 1975年『桑飼下遺跡発掘調査報告書』

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学埋蔵文化財研究センター要項

- 第1条 京都大学に埋蔵文化財研究センター（以下「センター」という）を置く。
- 第2条 センターは、京都大学敷地内の埋蔵文化財についての調査研究及びその保存のため必要な業務を行なう。
- 第3条 センターにセンター長を置く。
- 2 センター長は京都大学の専任教授をもって充てる。
 - 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
 - 4 センター長は、センターの所務を掌理する。
- 第4条 センターに、必要に応じて、助教授、助手その他の職員を置く。
- 第5条 センターに、調査研究及び保存に関する業務を処理するため、研究部を置く。
- 2 研究部に主任を置き、前条の教官をもって充てる。
 - 3 主任は、研究部の業務をつかさどる。
- 第6条 センターに、センターの事業に関する基本的計画、人事その他管理運営に関する重要事項を審議するため、運営協議会を置く。
- 2 運営協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
 - (1) センター長。
 - (2) センターの研究部の主任。
 - (3) 前2号以外の学識経験者のうちから総長の委嘱した者、若干名。
 - (4) 事務局長及び施設部長。
 - 3 センター長は、運営協議会を招集し、議長となる。
 - 4 前各項に規定するもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、運営協議会が定める。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項は、センター長が定める。

センター長	樋口隆康（文学部教授）	運営協議会委員	谷村定雄（施設部長）
運営協議会委員	池田次郎（理学部教授）	研究部主任	泉 拓良（文学部助手）
〃	川上 貢（工学部教授）	研究部研究員	岡田保良（工学部助手）
〃	西川幸治（工学部教授）	〃	清水芳裕（文学部助手）
〃	上田正昭（教養部教授）	〃	五十川伸矢（文学部助手）
〃	石田志朗（理学部助教授）	〃	吉野治雄（施設部技術補佐員）
〃	泉 拓良（文学部助手）	事 務 室	大八木邦雄（施設部事務官）
〃	大塚喬清（事務局長）	〃	梅川厚子（施設部技術補佐員）

京都大学構内遺跡調査会規約

- 第1条 この会は、京都大学構内遺跡調査会（以下「調査会」という）と称し、京都大学の委託により同大学構内における建築物新営工事等に伴い必要な敷地内の遺跡調査を行なうことを目的とする。
- 第2条 調査会は、事務所を京都市左京区北白川西町財団法人阪本奨学会内に置く。
- 第3条 調査会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行なう。
- (1) 京都大学の委託により行なう当該敷地内の埋蔵文化財についての発掘調査。
 - (2) 前号の調査により出土した埋蔵文化財の保存、管理に関する事項の審議。
 - (3) 埋蔵文化財の調査に関する発掘調査概要報告書の作成。
 - (4) その他必要とする事項。
- 第4条 調査会に次の役員を置く。
- (1) 会長1名。
 - (2) 委員
イ 京都大学の学識経験者若干名。
ロ 新営工事等の敷地の属する京都大学の部局の長または部局附属施設の長。
ハ 新営工事等の敷地の所在する地域の文化財保護行政当局の推薦する者、若干名。
 - (3) 監事若干名。
- 2 会長は、前項第2号イの委員の推薦する者とする。
 - 3 委員及び監事は、会長が委嘱する。
 - 4 第1項第2号ロ及びハの委員は、当該敷地内の遺跡調査に関する委員としての任務が終わったときは、退任する。
- 第5条 会長は、調査会を代表し、業務を総括する。
- 2 委員は、委員会を構成し、委員会の議決に基づく業務を執行する。
 - 3 監事は、調査会の会計を監査する。
- 第6条 委員会は、会長及び委員をもって組織する。
- 2 委員会は、会長が招集し、議長となる。
 - 3 委員会は、新営工事等の敷地が京都市以外の地域にある場合で、必要と認めたときは、部会を置くことができる。
- 第7条 第3条の発掘調査の実施に当たるため、調査会に調査班を置く。
- 2 調査班は、調査班長、調査員及び調査補助員をもって組織する。
 - 3 調査班長は、委員会の議に基づき会長が委嘱する。
 - 4 調査員及び調査補助員は、調査班長の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 調査会の事務を処理するため、調査会に事務局を置く。
- 2 事務局に職員若干名を置く。
 - 3 職員は、会長が任免する。
- 第9条 調査会の経費は、京都大学から支出される調査委託費をもって充てる。

第10条 調査会は、4月1日に始まる年度ごとに、事業報告書及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、年度終了後3月以内に委員会の承認を受けるものとする。

第11条 この規約に定めるもののほか、調査会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

会長 亀井節夫（理学部教授）

委員 樋口隆康（文学部教授）

西川幸治（工学部教授）

西村 進（教養部助教授）

石田志朗（理学部助教授）

泉 拓良（文学部助手）

小野貞海（事務局庶務部長）

規約第4条1項(2)ハ 今西祥博（京都市文化観光局文化財保護課長）

規約第4条1項(2)ロ 加藤幹太（理学部長）

西島安則（工学部長）

菅原 努（医学部長）

藤永太郎（瀬戸臨海実験所長）

監事 西村利雄（施設部企画課長）

岸田哲二（工学部経理課長）

堀内祥二（理学部事務長）

伊佐憲二（医学部事務長）

事務局員 大八木邦雄（施設部事務官）

梅川厚子（施設部技術補佐員）

川野美栄子（調査会事務員）

中村美代（調査会事務員）

調査班長・主任 泉拓良，岡田保良，清水芳裕，五十川伸矢，吉野治雄

調査員 五十川伸矢，河村善也，竹村恵二，田中はる代，津隈久美子，中堀謙二，花谷浩，浜崎一志，藤原喜信，家根祥多

調査補助員 網谷克彦，麻生隆，板野貢三子，上田佳子，川勝美幸，鷺見普照，関野かをる，谷美之，土橋理子，中出崇雄，西野素生，信氏喜久子，長谷川洋子，藤井肇，藤沢かをる，藤村早苗，曲田淳，南秀雄，宮川慎一，宮本一夫，八重樫和宏

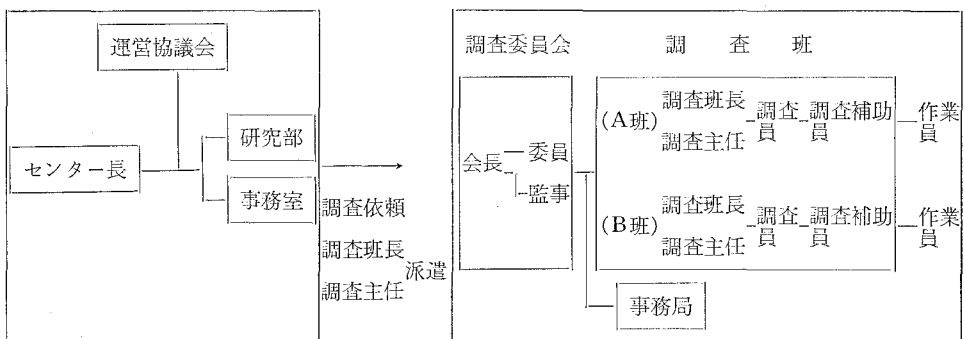
作業員 赤沢俊男，井口二三子，池田イシ，石原規子，伊藤泰次，大島與一，大角久夫，大野茂雄，小原祥市，久世和則，小寺末之，佐藤はつ枝，榎木まつ，庄司勝治，白木義蔵，染谷政夫，田辺千和子，玉置紀幸，中村コト，中村皓子，橋本俊夫，福井長治，福田文治，藤木チエ子，藤本ますえ，馬込浩，水上光雄，牟田正義，安田秀男，山内信彦，山崎伝七，山下公夫，山路三朗，山中喜一，吉田龍太郎，渡辺静江

現場事務員 袖岡郁子，文字幸子

（職名は就任当時のものを用い，京都大学の職員に関しては大学名を省略した。）

京都大学埋蔵文化財研究センター

京都大学構内遺跡調査会



北部構内B G 31区調査班

所在地 京都市左京区北白川追分町（図版1-56）
 工事名 理学部物理学科校舎新営
 発掘期間 昭和53年11月1日～同54年3月30日
 面積 約650m²
 調査班長・主任 泉拓良，宇野隆夫
 調査員 田中はる代
 調査補助員 2人
 作業員 8人

本部構内A W 28区調査班

所在地 京都市左京区吉田本町（図版1-57）
 工事名 工学部イオン工学実験施設新営
 発掘期間 昭和53年12月11日～同54年3月30日
 面積 486m²
 調査班長・主任 岡田保良，吉野治雄
 調査員 浜崎一志，津隈久美子
 調査補助員 3名
 作業員 8名

医学部構内A P 19区調査班

所在地 京都市左京区吉田橋町（図版1-74）
 工事名 医学部総合解剖センター新営
 発掘期間 昭和54年7月1日～同55年12月28日
 面積 2,776m²
 調査班長・主任 泉拓良，清水芳裕，吉野治雄
 調査員 五十川伸矢，田中はる代，津隈久美子
 調査補助員 6名
 作業員 20名

本部構内A T 27区調査班

所在地 京都市左京区吉田本町（図版1-75）
 工事名 吉田地区（本部構内）実験排水槽取設け工事
 発掘期間 昭和55年2月1日～同55年3月31日（予定）
 面積 400m²
 調査班長 五十川伸矢

北部構内合宿研修所新営予定地B H 37区試掘調査

所在地 京都市左京区北白川追分町（図版1-66a～j）
 試掘期間 昭和54年5月1日～同54年5月22日
 面積 46m²
 担当者 吉野治雄

医学部総合解剖センター新営予定地A P 19区試掘調査

所在地 京都市左京区吉田橋町（図版1-67a～h）

試掘期間 昭和54年5月1日～同54年5月15日
面積 28m²
担当者 岡田保良, 清水芳裕

基幹整備電気管理設予定地（医学部構内A L18区, 教養部構内A M24区）試掘調査

所在地 医学部構内 京都市左京区吉田橋町（図版1-68a～c）
教養部構内 京都市左京区吉田二本松町（図版1-69a・b）
試掘期間 昭和54年5月16日～同54年5月24日
面積 20m²
担当者 岡田保良, 清水芳裕

工学部機械系校舎新営予定地A T29区試掘調査

所在地 京都市左京区吉田本町（図版1-70a～g）
試掘期間 昭和54年7月5日～同54年7月16日
面積 28m²
担当者 吉野治雄

人文科学研究所分館資料収蔵庫等新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区北白川東小倉町47
試掘期間 昭和54年7月18日～同54年7月20日
面積 8m²
担当者 林巳奈夫, 桑山正進

工学部建築系校舎新営予定地A Z30区試掘調査

所在地 京都市左京区吉田本町（図版1-71a～d）
試掘期間 昭和54年9月4日～同54年9月20日
面積 14m²
担当者 西川幸治, 浜崎一志

理学部附属瀬戸臨海実験所研究棟等新営予定地試掘調査

所在地 和歌山県西牟婁郡白浜町字崎の北459
試掘期間 昭和54年9月17日～同54年10月19日
面積 102m²
担当者 泉拓良, 岡田保良

医学部附属病院和進会館移転予定地A K18区試掘調査

所在地 京都市左京区聖護院川原町54（図版1-72a～f）
試掘期間 昭和55年1月21日～同55年1月27日（予定）
面積 46m²
担当者 泉拓良

教養部構内吉田食堂新営予定地A P22区試掘調査

所在地 京都市左京区吉田二本松町（図版1-73a～f）
試掘期間 昭和55年1月30日～同55年2月7日（予定）
面積 40m²
担当者 泉拓良

京都大学構内遺跡調査の歴史一覧

(地点は図版1を参照, 文献中「理」は京
大理文研, 「調」は京大調査会をさす)

年 度	遺 跡 名	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (m ²)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
大正12年	農 学 部	1・2	浜田耕作	表 採・ 試 掘			縄文土器, 石器他	梅原23, 島田24	
13年	農 学 部	不明	藤本理三郎				石 棒	横山・ 佐原60	
昭和9年	大阪府阿 武山古墳		梅原末治	発 掘			乾漆棺, 玉 飾枕他	梅原36	
10年	北白川小 倉町		梅原末治				縄文土器, 石器他	梅原35	
31年	農 学 部	3	羽館 易	採 集			縄 文 土 器		
46年	農 学 部	4	石田志朗	採 集			弥 生 土 器		
47年	農 学 部	5		採 集			石 棒		
	大阪府安 満		小野山 節 都出比呂志	事前発掘	1500	条里の溝	弥生土器, 石器他	小野山・ 都出73	建物をずらし条里の溝を保存
	追分地蔵	6	石田志朗 中村徹也	事前発掘	600		弥生土器, 石器他	石田・ 中村72	
	教 養 部	7	藤岡謙二郎	工事中採 集・実測			縄文土器他	藤岡73	
48年	農 学 部	8	中村徹也	事前発掘		瓦 溜	縄文土器, 瓦(平安)他	埋78b	瓦溜埋戻し
	農 学 部	9	中村徹也	事前発掘	600		縄文土器, 土師器他	中村73	
	農 学 部	10	中村徹也	事前発掘	40		縄文土器他		
	植 物 園	11a	中村徹也	事前発掘	400	縄文後期 甕棺・配 石遺構	縄文土器他	中村74b 泉 77	甕棺・配石 遺構の移築 復原を決定
49年	農 学 部	12	中村徹也	事前発掘	800		縄文土器他	中村74a	
	植 物 園	11 a~d	中村徹也	追加調査		甕棺・配 石遺構	縄文土器他	中村74b	甕棺・配石 遺構取上げ
	農 学 部	13	中村徹也	事前発掘	800		縄文土器他	中村75	
50年	教 養 部	14	小野山 節 中村 徹 也	事前発掘	750		縄文土器他		
51年	教 養 部 AL24区	15	泉 拓良	立 合		瓦溜, 溝	弥生土器, 瓦(平安)他	調77	工事を中断 して一部発 掘, 遺跡発 見届提出

年 度	遺跡名 調査名	地点	担当者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和51年	農 学 部 BE 33 区	16 a～h	泉 拓 良	事前発掘	900	縄文時代 土壌, 不 定形ピット群, 井 戸, 集石 ピット, 溝他	縄文土器, 須恵器, 土 師器, 瓦他	調77	
	北 部 BK 30 区	17	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	病 院 AE 15 区	18	泉 拓 良	試 掘	20	ピット	土師器, 瓦 他	調77	工事中断 遺跡発見届 提出
	病 院 AE 15 区	19	岡 田 保 良	事前発掘	2200	池, 溝, 柱穴, 井 戸, 土器 溜他	土師器, 陶 磁器, 瓦他	調77	
	病 院 AH 17 区	20	岡 田 保 良	試 掘			土師器, 瓦 他	調77	工事予定地 の発掘調査 決定
	北 部 BF 28 区	21	泉 拓 良	試 掘				調77	工事の時に 立合
	本 部 AV 28 区	22	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	和歌山県 瀬 戸		中 村 友 博	試 掘			縄文土器, 弥生土器他	調77	工事予定地 の一部発掘 調査決定
	奈良県宇 陀郡大宇 陀町カタ ブキ		大 宇 陀 町 教育委員会	遺跡確認				調77	遺跡ではな い
	本 部 AV 27 区	23	泉 拓 良	試 掘	30		土師器(鎌 倉以降)他	調77	工事の時に 立合
	本 部 AV 27 区	24	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	北 部 BE 34 区	25	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	北 部 BD 29 区	26	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	北 部 BF 28 区	27	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	病 院 AI 18 区	28 a～c	泉 拓 良	試 掘	30	溝	土師器(平 安以降)他	調77	一部を発掘, その他を立 合に決定
	植 物 園 BD 35 区	29	吉 野 治 雄	保 存				調77	甕棺・配石 遺構を移築 復原
	本 部 AV 23 区	30	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行

年 度	遺跡名 調査名	地点	担当者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和51年	本 部 AT 25区	31	泉 拓 良	立 合				調77	工事続行
	本 部 AU 29区	32	泉 拓 良	立 合		ピット	土師器（鎌倉以降）他	調77	工事続行
	本 部 AZ 28区	33	泉 拓 良	立 合			縄文土器細片		工事続行
	病 院 AH17区	34	泉 拓 良	事前発掘	200	溝, 井戸, 集石, ピット他	土師器, 陶磁器, 瓦(平安以降)他	埋78a	
	教 養 部 AS 23区	35	吉 野 治 雄	試 掘	10	溝	縄文土器, 須恵器(奈良)他	調77	工事の時に立合
	北 部 BJ 33区	36	宇 野 隆 夫	試 掘	10		縄文土器	調77	
	医 学 部 AP 18区	37	泉 拓 良	立 合			土師器(平安以降)他	調77	工事続行
	病 院 AI 18区	38	泉 拓 良	立 合		石 敷	土師器(室町以降)他	調77	一部実測, 工事続行
	和歌山県 瀬 戸		丹 羽 佑 一	事前発掘	300	縄文時代土壌他	縄文土器, 石器, 弥生土器他	埋78a	
昭和52年	病 院 AF 14区	39	岡 田 保 良 宇 野 隆 夫	事前発掘	800	護岸, 井戸, 溝他	土師器, 陶磁器, 瓦他	埋78a	
	医 学 部 AO 18区	40 a~c	泉 拓 良 吉 野 治 雄	試 掘	10	鎌倉時代土壌	土師器, 陶磁器他	埋78a	工事予定地の発掘調査を決定
	医 学 部 AO 18区	41	泉 拓 良 吉 野 治 雄	事前発掘	1200	溝, 井戸土器溜他	土師器, 陶磁器, 瓦他	埋78a	
	北 部 BF 29区	42 a~f	泉 拓 良 吉 野 治 雄	試 掘	50		縄文土器, 植物遺体他	埋78a	
	北 部 電 気 管	42 g~l	吉 野 治 雄	試 掘	50		須恵器, 土師器他	埋78a	
	北 部 電 気 管	43 a~c	吉 野 治 雄 宇 野 隆 夫	立 合		溝, ピット	須恵器, 土師器他	埋78a	実測・遺物採集の後, 工事続行
	木 給 水 部 管	44	宇 野 隆 夫	立 合				埋78a	工事続行
	本 ガ ス 部 管	45	宇 野 隆 夫	立 合				埋78a	工事続行
	医 ガ ス 部 管	46	岡 田 保 良	立 合			土師器他	埋78a	工事続行
	病 給 水 院 管	47	岡 田 保 良	立 合				埋78a	工事続行
	教 養 部 AQ 23・ AN 23区	48 a・b	宇 野 隆 夫	試 掘	80	溝	弥生土器, 土師器, 瓦(平安後期)他	埋78a 埋79	

年 度	遺 跡 名 称	地点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和53年	白河北殿 比定地 AA 18区	49	岡田保良	試 掘	40	溝	瓦, 土師器, 陶磁器	埋79	遺跡確認 調査
	本 部 AT 27区	50 a・b	宇野隆夫	試 掘	8	道路 (側溝)	須恵器	埋79	工事予定地 の発掘調査 決定
	本 部 AW 28区	51 a~d	岡田保良	試 掘	16	白川道 (路面)	土師器, 陶 磁器	埋79	工事予定地 の発掘調査 決定
	本 部 AY 25区	52 a・b	岡田保良	試 掘	8			埋79	
	病 院 電 気 管	53 a~f	宇野隆夫	試 掘	24			埋79	
	理 学 部 BE 29区	54	岡田保良 吉野治雄 宇野隆夫	事前発掘	500	方形周溝 墓, 火葬 塚	弥生土器, 土師器, 瓦	埋79	火葬塚と方 形周溝墓を 現地保存
	農 学 部 BG 32区	55	泉 拓良 宇野隆夫	事前発掘	100	土坑, 溝	縄文土器, 土師器, 陶 磁器, 瓦	埋79	
	農 学 部 BG 31区	56	泉 拓良 宇野隆夫	事前発掘	650		縄文土器	埋80	
	本 部 AW 28区	57	岡田保良 吉野治雄	事前発掘	500	白川道 (路面)	陶磁器, 土 師器, 銭貨	埋80	
	医 学 部 AN 18区	58	宇野隆夫 岡田保良 吉野治雄	立 合		建物, 井 戸	土師器, 陶 磁器, 瓦	埋79	発掘・実測 の後, 工事 続行
	京 都 府 丹 波 町		岡田保良	立 合				埋79	工事続行
	滋 賀 県 高 島 町		岡田保良 高 島 町 教育委員会	立 合				埋79	工事続行
	京 都 府 宇 治 市		宇野隆夫	立 合				埋79	工事続行
	東南ア研 AK 10区	59	岡田保良	立 合				埋79	工事続行
	本 部 AY 22区	60	泉 拓良	立 合		高野川旧 河道		埋79	実測後, 工 事続行
	北 ガ ス 部 管	61	泉 拓良	立 合			石仏, 石塔 婆	埋79	工事続行
	教 養 部 ガ ス 管	62	泉 拓良	立 合				埋79	工事続行
	病 院 電 気 管	63	泉 拓良	立 合				埋79	工事続行
	医 学 部 電 気 管	64	吉野治雄	立 合		井戸, 溝	弥生土器, 土師器, 陶 磁器	埋79・80	発掘・実測 後, 工事続 行

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和53年	北 給 水 管	65	泉 拓 良	立 合		瓦, 土師器,	瓦, 土師器 陶磁器	埋80	実測後, 工事続行
昭和54年	北 部 BH 37 区	66 a~j	吉野治雄	試 掘	46	土坑	土師器, 須惠器	埋80	工事予定地の発掘調査決定
	医 学 部 AP 19 区	67 a~h	岡田保良 清水芳裕	試 掘	28	土坑, 集石	土師器, 須惠器	埋80	同 上
	医 学 部 AL 18 区	68 a~c	岡田保良 清水芳裕	試 掘	12		土師器, 陶磁器	埋80	工事の時に立合
	教 養 部 AM 24 区	69 a・b	岡田保良 清水芳裕	試 掘	8		弥生土器, 土師器	埋80	工事の時に立合
	本 部 AT 29 区	70 a~g	吉野治雄	試 掘	28	溝, 土坑	縄文土器, 弥生土器 土師器, 瓦	埋80	工事予定地の発掘調査決定
	北 白 川 小 倉 町		林巳奈夫 桑山正進	試 掘	8			埋80	工事の時に立合予定
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓 良 岡田保良	試 掘	102	土坑, 縄文時代貝塚	縄文土器 製塩土器	埋80	工事予定地の一部発掘調査決定
	本 部 AZ 30 区	71 a~d	西川幸治 浜崎一志	試 掘	14	鎌倉時代溝	土師器, 瓦器, 瓦	埋80	
	病 院 東 AK 18 区	72 a~f	泉 拓 良	試 掘	46				実施予定
	教 養 部 AP 22 区	73 a~f	泉 拓 良	試 掘	40				実施予定
	医 学 部 AP 19 区	74	泉 拓 良 清水芳裕 吉野治雄	事前発掘	2776	井戸(鎌倉室町)溝, 土器溜	土師器, 陶磁器, 瓦, 旧石器	埋80	現在整理中
	本 部 AT 27 区	75	五十川伸矢	事前発掘	400				実施予定
	本 部 AW 22 区	76	岡田保良	立 合				埋80	工事続行
	医 学 部 電 気 管	77	岡田保良	立 合			土師器, 陶磁器	埋80	工事続行
	教 養 部 電 気 管	78	泉 拓 良	立 合				埋80	工事続行
	北 部 BD 32 区	79	泉 拓 良	立 合				埋80	工事続行
	北 部 BF 30 区	80	泉 拓 良	立 合				埋80	工事続行
	医 学 部 給 水 管	81	清水芳裕	立 合			土師器	埋80	工事続行
	医 学 部 ガ ス 管	82	五十川伸矢	立 合				埋80	工事続行
	山 科 区 北 花 山		岡田保良 吉野治雄	遺跡確認				埋80	工事予定地に遺跡なし